

いずみさの教育



問合先
学校教育課

泉佐野市子どもの主張コンクール

近年、様々な要因から急速に変化する社会において、子どもたちがその変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、複雑な状況変化の中で目的を再構築できるようにすることが求められています。市教育委員会では、これからの時代を担う子どもたちが、思考力や表現力、提案力を高めるとともに、仲間と協力して計画を実行する力を育むことをねらいとして、平成31年度より、市立小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に「泉佐野市子どもの主張コンクール」を実施しています。学校や社会で感じている疑問や課題をテーマとして設定し、その解決に向けて、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、領域を問わず、授業を相互に関連付け、一人一台端末を積極的に活用しながら、企画・提案を行い、具体的なプランを立てます。プランに基づいて仲間と協力して実行した後は、進み具合を振り返り点検し、再チャレンジす

ることを繰り返し、最後に実際に取り組んだ内容をまとめ、次のステップを考えるというものです。各小・中学校では、学級や学年単位だけではなく、児童会・生徒会や委員会・クラブ活動など、様々な場面において、子どもたちが主体となる取組を進めています。これらの取組をプレゼンテーション形式にまとめ、各校から2点ずつ応募作品として出品します。その中から、小・中学校それぞれ優秀賞が3点選出され、うち1点は最優秀賞として市教育委員会表彰式で表彰されます。これからの未来を生きる子どもたちには、生涯にわたる学びの基盤となる資質・能力を育成し発揮できることが大切です。市教育委員会では、昨年より本市オリジナルのMy note (マイノート) を小学5年生から中学3年生に配付しています。My noteも活用しながら、主体的な学びが深まることを期待し、取組を進めていきます。

学校園紹介



出会いを大切に — 2年生の学習より— ～長坂小学校～

長坂小学校は人権教育において「出会い」を大切にしています。子どもたちは学習内容に関する人に出会うことで学びを深めています。今回は2年生の取組です。



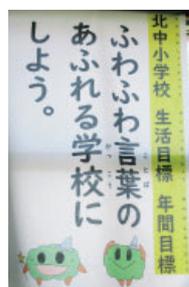
5月に玉ねぎ（泉州黄玉ねぎ）の収穫に行きました。1年生の時に地域の人の畑を借りて自分たちで植え付けをしたもので、大きく実った玉ねぎを一生懸命収穫しました。今度は学校で自分たちだけで夏野菜を育てるのに、玉ねぎのお世話をしてくださった人が野菜名人としてアドバイスに来てくれます。野菜が育つために水や栄養、そして愛情が必要であることを知ると子どもたちは水やりの時に声も一緒にかけるようになり、優しい気持ちで接することの大切さを学びます。



「実った野菜は家に持ち帰り食べる」ここまでが取組の流れです。

人は様々な人に出会う中で成長していきます。直接出会い、話を聞くことで教室では得られない大切なものを心に感じるができます。また、様々な体験を通して心を成長させていきます。長坂小学校はこれからも出会いを大切に人権学習を進め、未来へはばたく「ながさかっこ」を育成していきます。

「ふわふわ言葉」であたたかい学校づくり ～北中小学校～



本校のめざす学校像は、「子ども主義でいこう！」です。学びあい、響きあい、高めあい、温めあい、認めあい、つながりあい、「ふわふわ言葉」を大切にし、「あい」が溢れるあたたかい学校をめざしています。

特に長年、本校が大切にしてきた「ふわふわ言葉」の取組は、コミュニケーションの際に、相手を傷つけるチクチク言葉を使うのではなく、相手をあたたかい気持ちにさせる「ふわふわ言葉」を使いましょうというものです。

校内は、「ふわふわ言葉」を象徴するキャラクターの「ふわりん」が至る所に現れます。また、給食時には毎日「ふわふわ言葉の歌」が放送で流れるとともに、毎月、2と8のつく日は「ふわふわ言葉の日」として意識の高揚を図っています。

創立151年。「ふわふわ言葉」が本校の文化と伝統となるよう、家庭・地域のみなさんと共に北中小学校を創っていきます。

